

臨床研究に関するお知らせ

宮崎大学医学部附属病院呼吸器内科では、下記の臨床研究を実施しています。皆様（患者様および親族の方等）には本研究の趣旨をご理解頂き、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

研究課題名：当院での肺癌骨転移症例 142 例の臨床的特徴と予後予測因子

1. 研究の概要

癌は日本人の死因の第1位の疾患であり、その中で最も多い原因が肺癌です。基本的に肺癌は肺の中で発生し、徐々に大きくなり、リンパの流れに沿ってリンパ節に転移します。さらに進行すると、脳や骨、副腎などの他の臓器に転移してしまいます。骨に転移すると、転移した場所の痛み、病的骨折、隣接した神経への圧迫症状がおきます。椎体（背骨のこと）に転移した際には、隣にある脊髄（多くの神経の束）に影響することが多く、手足の麻痺や、便・尿の感覚がわからなくなることがあります。また、そのような症状が出現した方は、症状が無い方に比べて、肺癌に対する治療効果に差があるのではないかとされています。

今回我々は、当院で診断した骨に転移した肺癌の患者様を調べ、痛みや神経の症状の有無や、治療内容などで治療結果に差があるかどうかを検討する研究を計画しました。

2. 目的

当院で骨への転移を伴った肺癌の患者様の過去の情報を調べ、症状の有無や治療内容によって治療経過に差があるかどうかを検討することが目的になります。

なお、この研究は肺癌に関連する新しい知識を得ることを目的とする学術研究活動として実施されます。

3. 研究実施予定期間

この研究は、倫理委員会承認後から2021年3月31日まで行われます。

4. 対象者

2010年1月1日から2019年12月31日に、当院で骨への転移を伴った肺癌と診断された患者様が対象となります。

5. 方法

対象となる方のカルテ情報から、以下の項目を確認させて頂き、肺癌の治療経過に関わる要素を解析、検討します。

調査する項目

患者基本情報：年齢、性別、基礎疾患、転帰、喫煙の有無、身長、体重

身体所見、検査所見（生検の組織診、遺伝子変異の有無、症状の有無、疼痛の有無、神経学的所見の有無、歩行の可否、腫瘍マーカー）

CT所見、MRI所見、PET-CT所見

治療（治療薬、放射線治療の有無、投与期間、副作用）

情報の管理責任者

宮崎大学医学部附属病院 卒後臨床研修センター・呼吸器内科 助教 小田 康晴

6. 費用負担

この研究を行うあたり、対象となる方が新たに費用を負担することは一切ありません。

7. 利益および不利益

この研究にご参加いただいた場合の利益・不利益はありません。参加を拒否された場合でも同様です。

8. 個人情報の保護

研究にあたっては、対象となる方の個人情報を容易に同定できないように、数字や記号などに置き換え、「匿名化された情報(どの研究対象者の情報であるかが直ちに判別できないよう、加工又は管理されたものに限る)」として使用いたします。

9. 研究に関する情報開示について

ご希望があれば、研究計画および研究方法についての資料を閲覧することができます。ご希望がある場合は、下記連絡先へ遠慮無く申し出てください。ただし、研究の独創性確保に支障のない範囲内で情報開示を行います。

10. 研究資金および利益相反について

この研究に関する経費は、実施責任者が所属する診療科の研究費で賄われます。なお、本研究の実施責任者と分担研究者は本研究に関わる企業および団体等からの経済的な利益の提供は受けていないため、利益相反はありません。

11. 研究成果の公表

この研究で得られた研究成果を学会や医学雑誌等において発表します。この場合でも個人を特定できる情報は一切利用しません。

12. 参加拒否したい場合の連絡先

この研究に参加したくない(自分のデータを使ってほしくない)方は下記連絡先へ遠慮無く申し出てください。しかしながら、データ解析後、もしくは学会等で発表後は途中辞退することができない場合もあります。

13. 疑問、質問あるいは苦情があった場合の連絡先

この研究に関して疑問、質問あるいは苦情があった場合は下記連絡先へ連絡をお願い致します。

宮崎大学医学部 呼吸器内科

助教 小田 康晴

電話：0985-85-1869 (内線 3018)